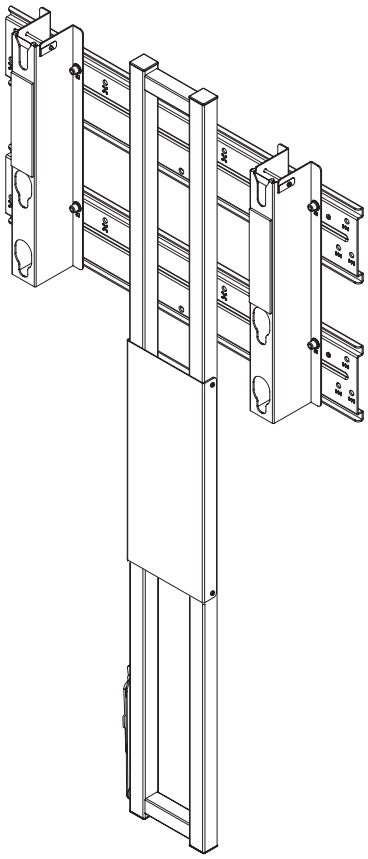
Panasonic

組み立て設置工事説明書

壁寄せスタンド

品番　SH-KHTF7



組み立て設置工事をする際は、必ず工事専門業者に依頼してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本製品は、当社製のホームシアターオーディオシステムおよびテレビ（ビエラ）専用の壁寄せスタンドです。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 組み立て設置工事の前に、この「組み立て設置工事説明書」と、ホームシアターオーディオシステムおよびテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい組み立て設置工事を行ってください。
  「安全上のご注意」（→ 3、4 ページ）を必ずお読みください。
- 組み立て設置工事説明書は、ホームシアターオーディオシステムおよびテレビの取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

VQT3L74-1

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
（→ 3、4 ページ）

はじめに

構成部品 5

組み立て設置手順

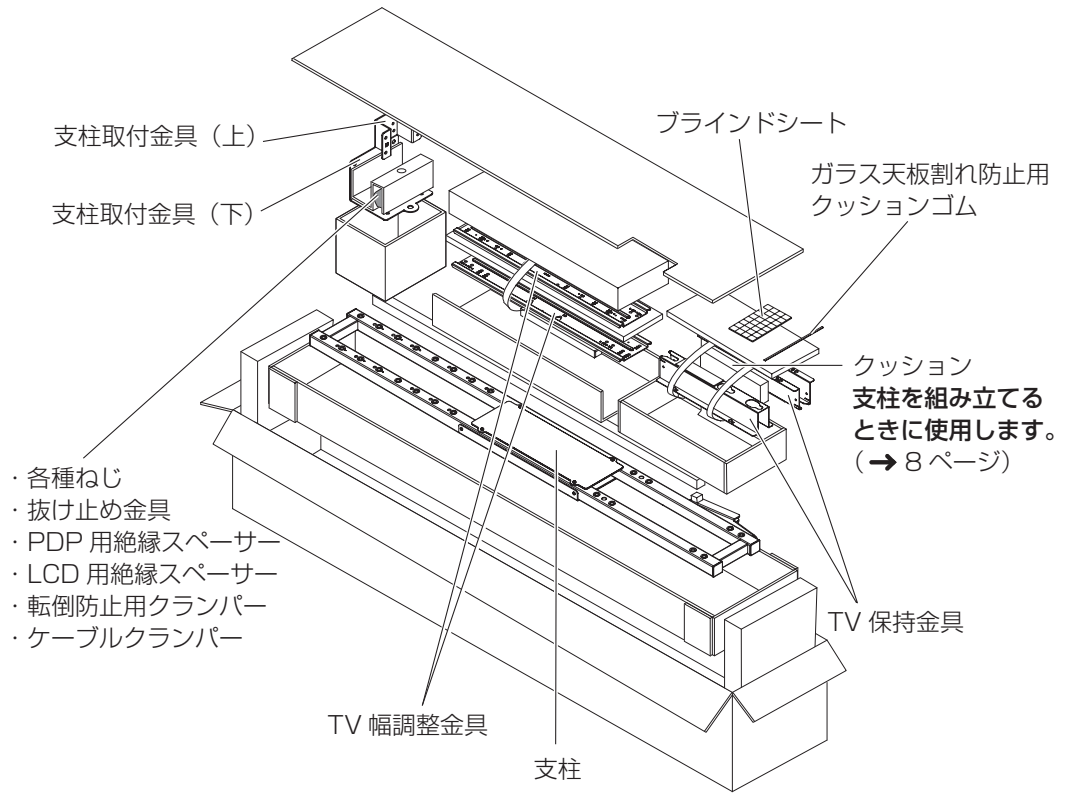
組み立て設置上の留意点 5
組み立て設置の流れ 6
組み立て設置手順 7
1. テレビ取付金具を組み立てる 7
2. 支柱を組み立てる 8
3. 支柱をラックに取り付ける 9
4. 支柱にテレビ取付金具を取り付ける 11
5. テレビ取付金具にテレビを取り付ける 13
6. 設置と転倒防止処理をする 16
7. ガラス天板を取り付ける（ラックに付属の場合のみ） 18

その他

仕様 19
取り扱い上のお願い 19
お手入れ 19

包装仕様図

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。



安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**（次は図記号の例です）

⊘	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

工事専門業者以外は組み立て設置、取り外し工事を行わない

⊘ 工事の不備により、落下や転倒して、けがの原因となります。

ホームシアターオーディオシステムにキャスターを取り付けない

⊘ 不安定になり、転倒してけがの原因となります。

ふすま・障子・アコーディオンカーテンなどの前での使用は不安定になるため、設置しない

⊘ 倒れて、けがの原因となります。

壁面から離れた場所に設置しない

⊘ 倒れて、けがの原因となります。

頭や顔、手足をぶつける場所に設置しない

⊘ けがの原因となります。

テレビとラックとの間に頭や顔、手足を入れない

⊘ けがの原因となります。

壁寄せスタンドを分解したり、改造したりしない

倒れたり、破損して、けがの原因となります。

組み立て時、掃除や配線処理などで壁面から離す場合は、必ず転倒防止金具を約 90 度まで広げて、ねじで固定する

❗ 転倒防止金具を約 90 度まで広げないと倒れて、けがの原因となります。

壁面を背にして設置する

❗ 壁面を背にしないと倒れて、けがの原因となります。

長い距離を移動させる場合は、テレビを壁寄せスタンドから取り外す

❗
- 取り外さないで長距離を移動すると不安定になり、落下・転倒してけがの原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

カタログで指定した機器以外には使用しない

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに設置しない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

移動や設置時にラック下部の透き間内に足先を入れない

けがの原因になることがあります。

ガラス天板をラックに乗せる時に壁寄せスタンドに当てない

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

湿度の高い場所では使用しない

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

テレビの上面・左右・後面は 10 cm 以上、下面はラックとの空間をふさがない

通風を妨げると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

ねじやスペーサー、ブラインドシート、転倒防止用クランパー、抜け止め金具は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼす場合があります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗ったり、寄りかかったりしない

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。（特に小さいお子様にご注意ください。）

組み立て設置時に、指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

取り付けの際は、専用の構成部品を使用する

テレビが落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

水平で安定した場所に設置する

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

直射日光を避け、熱器具から離す

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

組み立て後、設置するときは、必ず指定された部分を持って行う

指定された部分以外を持って行うと、けがの原因になることがあります。

- 持ちかたについては、必ず本文の説明に従ってください。

キャスターを取り外す場合や、組み立て後の設置は、2 人以上で行う

1 人で無理に行うと、腰を痛めたり、けがの原因になることがあります。

- キャスターの取り外しは、ホームシアターオーディオシステムの取扱説明書に従ってください。

組み立て時、ねじ留めをする箇所は、すべてしっかりと留める

不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

転倒・落下防止の処置をする

地震や、お子様がよじ登ったりすると、転倒や落下をして、けがの原因になることがあります。

組み立て設置や取り外し工事は 2 人以上で行う

機器本体が落下して、けがの原因となることがあります。

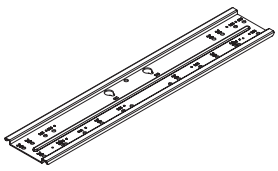
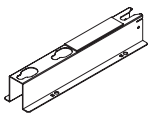
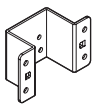
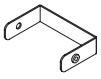
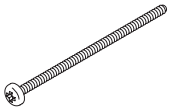
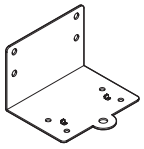
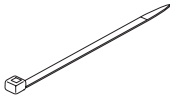
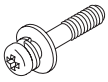
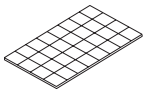
電源コードをラックの底面ではさまないように設置する

火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

構成部品

● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
● 本書中では下記の組み立てねじを「ねじ」と表記しています。

☐ 支柱（1 個） 	☐ TV 幅調整金具（2 個） 	☐ TV 保持金具（2 個） 	☐ 支柱取付金具（上）（1 個） 
	☐ 抜け止め金具（2 個） 	☐ 抜け止め金具固定ねじ（M3 × 45）（2 本） 	☐ 支柱取付金具（下）（1 個） 
	☐ 転倒防止用クランパー（2 個） 	☐ 転倒防止用クランパー固定ねじ（M4 × 6）（2 本） 	☐ ケーブルクランパー（1 本） 
☐ 組み立てねじ（M6 × 25）（8 本） 	プラズマテレビ用 ☐ PDP 用絶縁スペーサー（M8）（4 個） 	液晶テレビ用 ☐ LCD 用絶縁スペーサー（M6）（4 個） 	☐ ガラス天板割れ防止用クッションゴム（1 個） （ガラス天板付きのラックで使用）
☐ 組み立てねじ（M6 × 16）（23 本） 	☐ PDP 用固定ねじ（M8 × 32）（4 本） 	☐ LCD 用固定ねじ（M6 × 24）（4 本） 	☐ ブラインドシート（1 枚：32 個（予備 4 個）） 

組み立て設置上の留意点

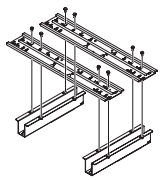
■ テレビやラック（ホームシアターオーディオシステム）、接続機器の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には設置しないでください。

- スプリンクラーや感知器のそば
- 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
- 高圧線や動力源の近く
- 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
- 暖房機器の風が当たる所
- エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所

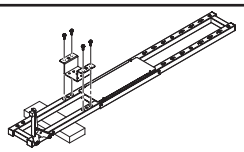
■ 機器周囲温度が 40 ℃を超えることがないように、空気の流通を確保してください。
テレビや接続機器内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。
■ 組み立て後は、質量が重くなりますので、設置場所の近くで作業してください。
■ 組み立て設置工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。
■ 組み立て作業は、**2 人以上**で行ってください。
■ 組み立て設置工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。
■ ねじ留めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。（過大な力の加わる建築工事用取っ手付きドライバーなどは使用しないでください。ねじが破損することがあります。）

組み立て設置の流れ

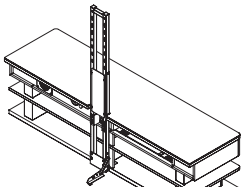
1 テレビ取付金具を組み立てる
(→ 7 ページ)



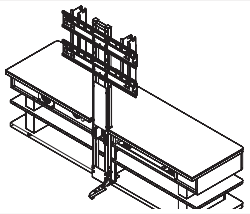
2 支柱を組み立てる
(→ 8 ページ)



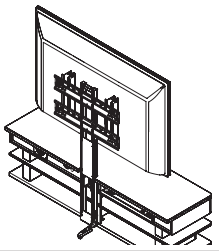
3 支柱をラックに取り付ける
(→ 9、10 ページ)



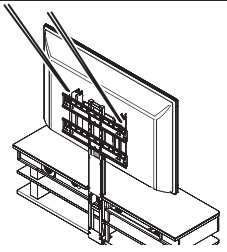
4 支柱にテレビ取付金具を
取り付ける
(→ 11、12 ページ)



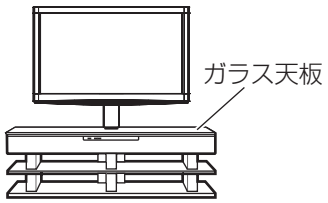
5 テレビ取付金具にテレビを
取り付ける
(→ 13 ～ 15 ページ)



6 設置と転倒防止処理をする
(→ 16、17 ページ)



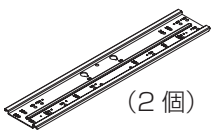
7 ガラス天板を取り付ける
(ラックに付属の場合のみ)
(→ 18 ページ)

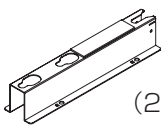


組み立て設置手順

1. テレビ取付金具を組み立てる

使用する構成部品

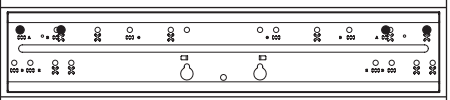
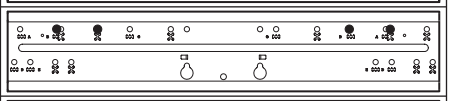
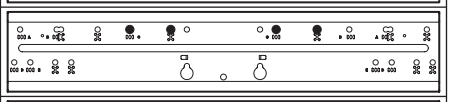
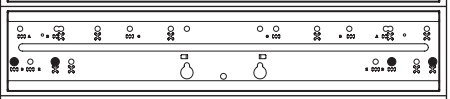
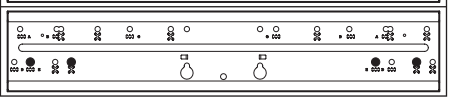
TV 幅調整金具  （2 個）

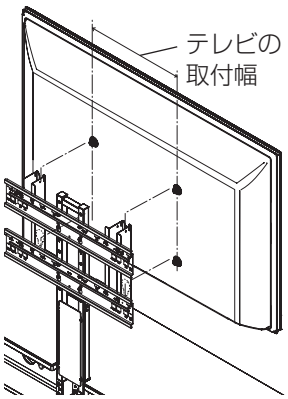
TV 保持金具  （2 個）

組み立てねじ（M6 × 16） （8 本）

1 テレビの種類に合わせて、ねじ取付穴の位置を決める

- TV 幅調整金具には、テレビの取付幅に応じて 5 種類の取付位置があります。
  下表を参照して、テレビの種類に応じたねじ取付穴の位置（•）を確認します。

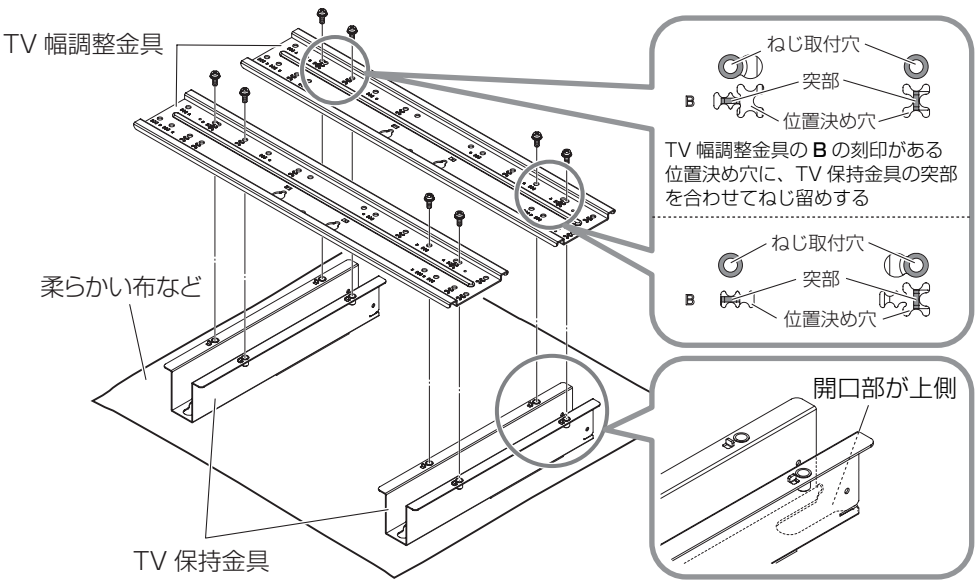
テレビの種類	取付幅	刻印	TV 幅調整金具のねじ取付穴の位置
PDP: 58/54V 型	500 mm	A	
PDP: 50/46/42V 型	400 mm	B	
LCD: 42/37V 型	200 mm	C	
薄型 PDP: 54/50V 型（P54Z1/P50Z1）	516 mm	D	
薄型 PDP: 46V 型（P46Z1）	472 mm	E	



2 TV 幅調整金具をねじで TV 保持金具に取り付ける

- TV 保持金具を下図のように、開口部を上側にして置きます。
- 刻印を目印に TV 幅調整金具を TV 保持金具に取り付けます。
- ねじ 8 本をすべて仮留めした後、きっちり締め付けます。（締め付けトルク：1.5 ～ 2 N · m）

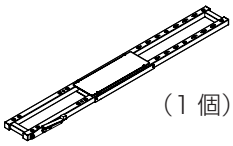
例）PDP：50/46/42V 型（取付幅 400 mm）の場合（刻印 **B** のある位置決め穴を使用します。）

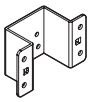


組み立て設置手順（つづき）

2. 支柱を組み立てる

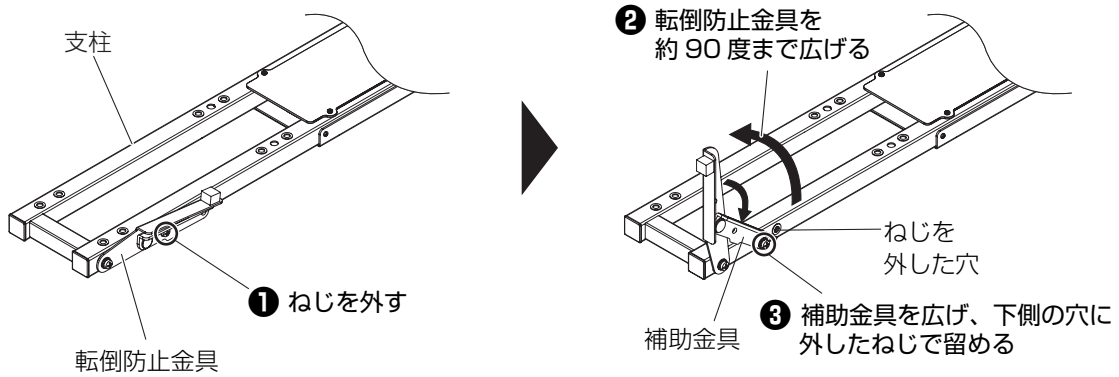
使用する構成部品

支柱  （1 個）

支柱取付金具（上）  （1 個）

組み立てねじ（M6 × 16） （4 本）

1 転倒防止金具を広げて、ねじで固定する

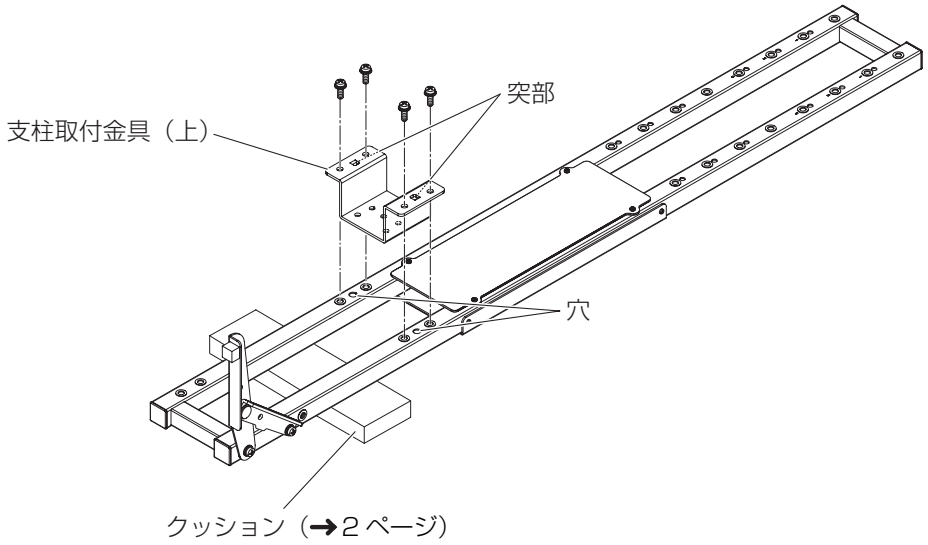


お願い

- 作業中のラックの転倒を防止するために、転倒防止金具を約 90 度まで広げてねじ留めしてください。組み立てを完了し、設置場所へ移動する直前まで（➜ 16 ページ）、このままの状態で作業してください。
- 作業中に転倒防止金具を踏んだり、つまずいたりしないよう注意してください。

2 支柱取付金具（上）をねじで取り付ける

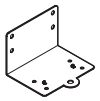
- クッションを支柱の下に置きます。
- 支柱取付金具（上）の突部を、支柱の穴に合わせて取り付けます。
- ねじ 4 本をすべて仮留めした後、きっちり締め付けます。（締め付けトルク：1.5 ～ 2 N・m）



3. 支柱をラックに取り付ける

使用する構成部品

支柱取付金具（下）



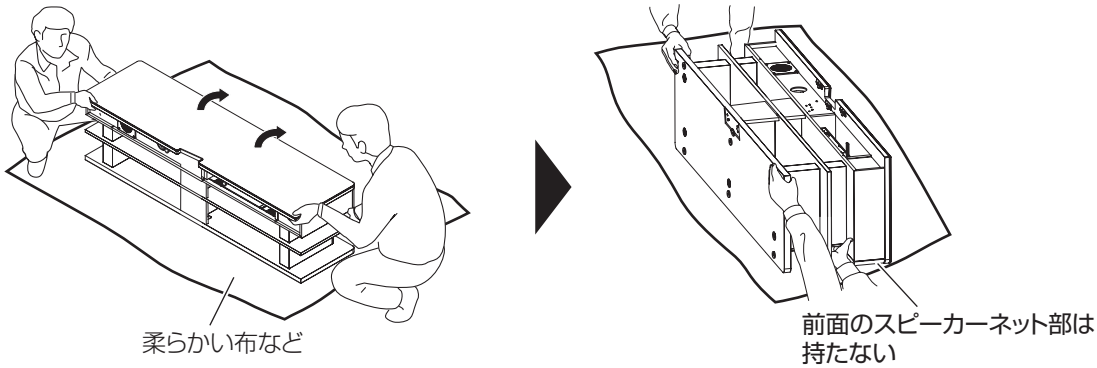
（1 個）

組み立てねじ（M6 × 16）

（11 本）

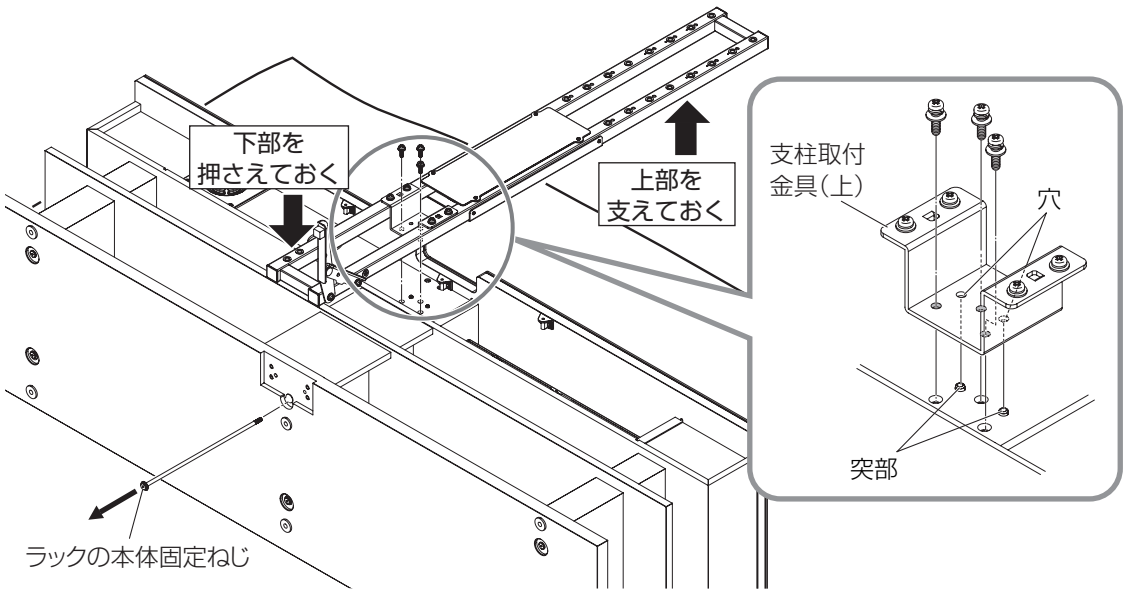
1 ラックを倒す

● ラックにキャスターやガラス天板を取り付けている場合は取り外してください。



2 ラックの本体固定ねじ（下図の 1 本）を外し、組み立てた支柱（→ 8 ページ）をねじでラックに固定する

● 支柱の上部を下から支えながら、支柱の下部の浮き上がりを押さえ、支柱取付金具（上）の穴を、ラックの突部に合わせて取り付けます。
● ねじ 3 本をすべて仮留めした後、きっちり締め付けます。（締め付けトルク：1.5 ～ 2 N · m）

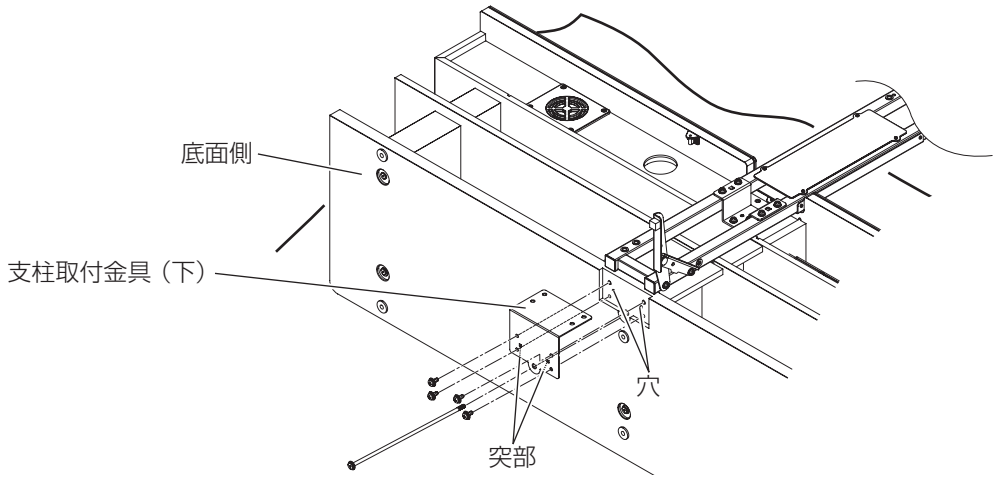


組み立て設置手順（つづき）

3. 支柱をラックに取り付ける（つづき）

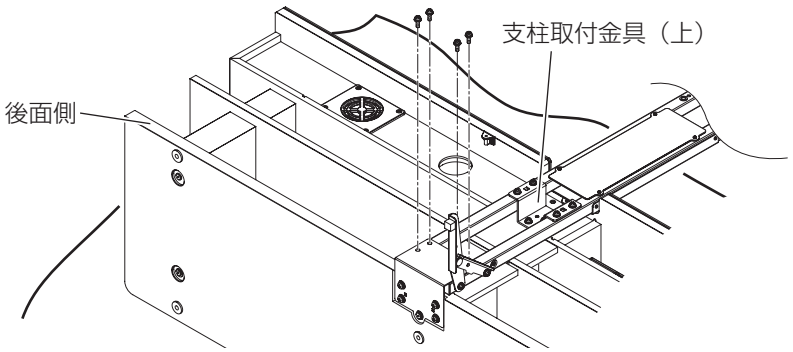
3 支柱取付金具（下）をねじでラックの底面側に固定する

- 支柱取付金具（下）の突部を、ラックの底面側にある穴に合わせて取り付けます。
- ラック底面側からねじ 4 本と 9 ページの手順 **2** で外した本体固定ねじ 1 本で仮留めします。



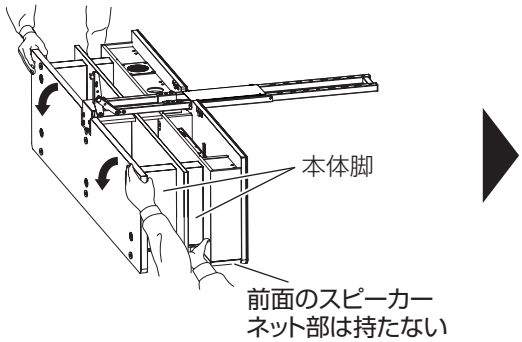
4 支柱取付金具（下）をねじで支柱に固定する

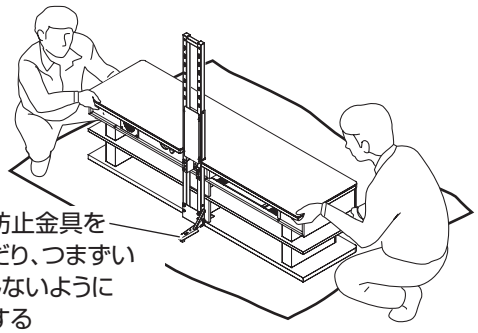
- ラック後面側からねじ 4 本で仮留めします。
- 後面側のねじが合わない場合は、支柱取付金具（上）のねじ 3 本を緩めて調整してください。
  （➜ 9 ページの手順 **2**）
  調整後、緩めたねじは再度締め付けてください。
- 最後に上記手順 **3** のねじ 4 本と合わせて 8 本のねじをきっちり締め付けます。（締め付けトルク：1.5 ～ 2 N·m）
- 上記手順 **3** の本体固定ねじ 1 本もきっちり締め付けます。（締め付けトルク：0.8 ～ 1.5 N・m）



5 ラックを起こす

- 本体脚を持って、起こします。





4. 支柱にテレビ取付金具を取り付ける

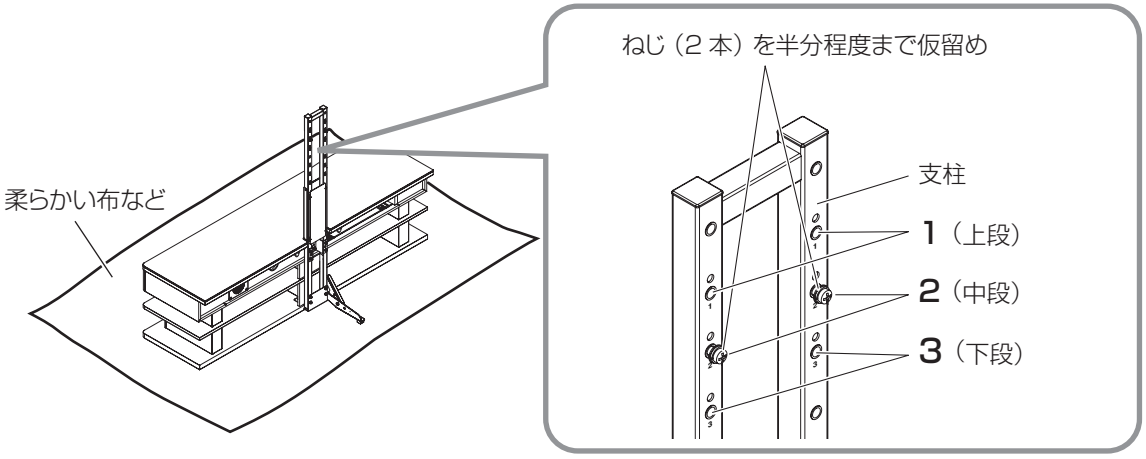
使用する構成部品

組み立てねじ（M6 × 25）　（8 本）　　ブラインドシート　（1 枚：28 個）

1 支柱にねじを仮留めする（2 本）

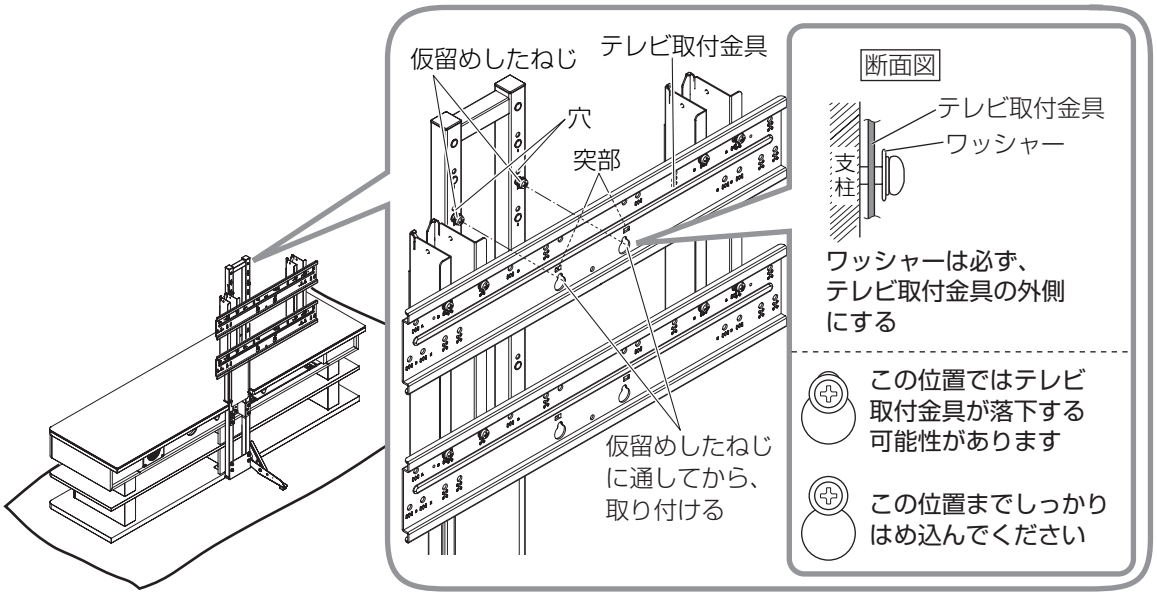
- **「テレビの高さ」**を「**1**（上段）」、「**2**（中段）」、「**3**（下段）」から選びます。
- 「**2**（中段）」への取り付けを推奨していますが、お客様のご希望や設置場所に合わせて、別紙「テレビ取付外形寸法図」をご参考にお選びください。
  （テレビの高さを選ぶ場合、テレビの上方は 10 cm 以上の空間を空けておいてください。）

例）「**2**（中段）」に取り付ける場合



2 支柱の仮留めしたねじ（2 箇所）に、テレビ取付金具（→ 7 ページ）を取り付ける

- テレビ取付金具の突部を、支柱の穴に合わせて取り付けます。

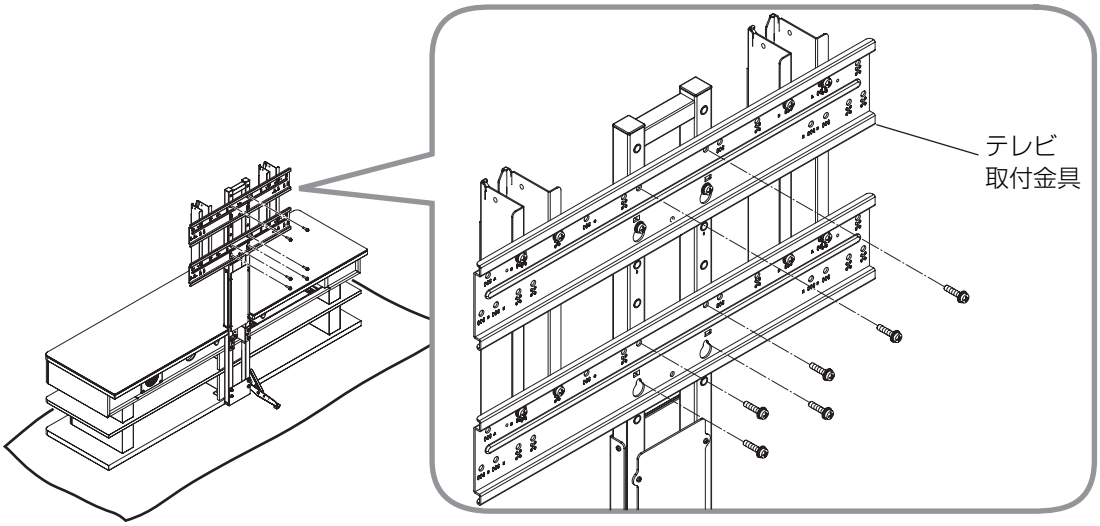


組み立て設置手順（つづき）

4. 支柱にテレビ取付金具を取り付ける（つづき）

3 支柱にねじでテレビ取付金具を固定する

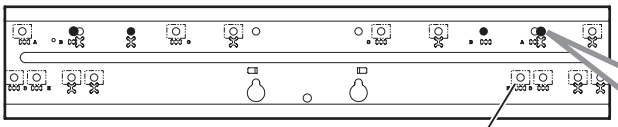
- ねじ 6 本を仮留めします。
- ねじが合わない場合は、テレビ取付金具のねじ 8 本を緩めて調整してください。
  （➔ 7 ページの手順 **2**）調整後、緩めたねじは再度締め付けてください。
- 11 ページの手順 **1** で仮留めした 2 本を含めた 8 本のねじをきっちり締め付けます。
  （締め付けトルク：1.5 ～ 2 N・m）



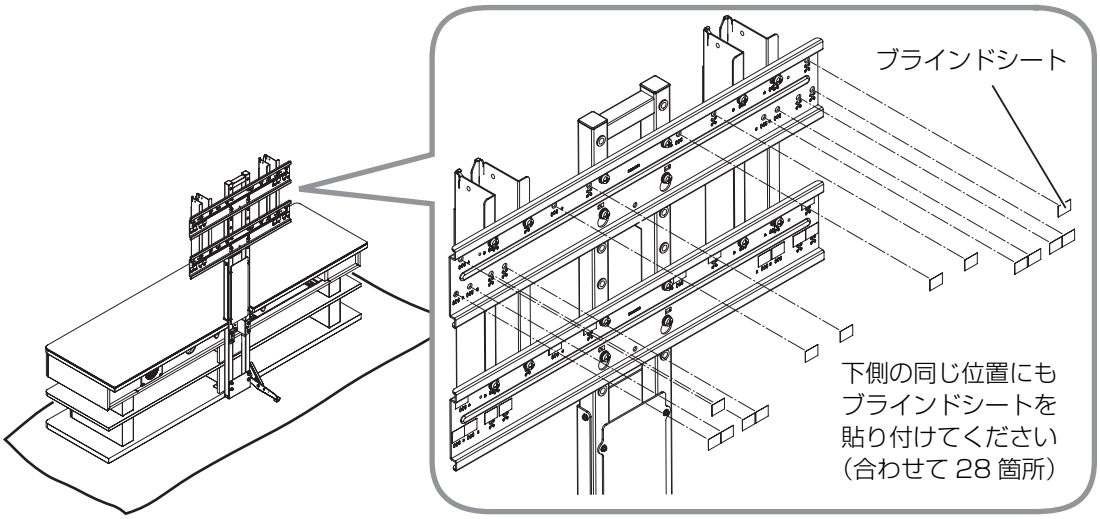
4 ねじ取付穴にブラインドシートを貼る

- 乳幼児が指を入れないように穴をふさぎます。テレビ取付金具の使用していないねじ取付穴（28 箇所）にブラインドシートを押さえて貼り付けます。

例）刻印 **B** のねじ取付穴を使用した場合（● はねじ留めしています）



刻印 C、D、E のねじ取付穴を使用する場合は、図のねじ取付穴にブラインドシートを貼り付けてください



5. テレビ取付金具にテレビを取り付ける

使用する構成部品

プラズマテレビ用
PDP 用絶縁スペーサー（M8）（4 個）
PDP 用固定ねじ（M8 × 32）（4 本）

テレビに合わせてどちらかを使用してください。

液晶テレビ用
LCD 用絶縁スペーサー（M6）（4 個）
LCD 用固定ねじ（M6 × 24）（4 本）

抜け止め金具（2 個）

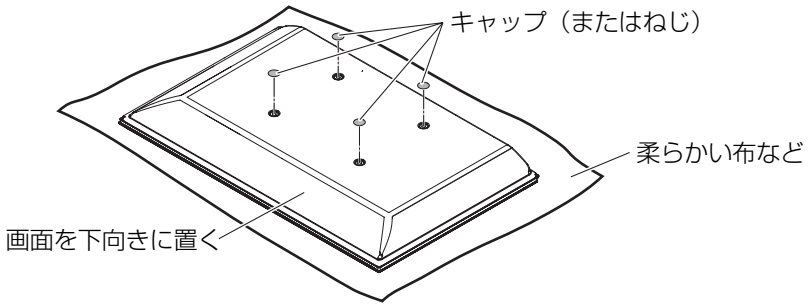
抜け止め金具固定ねじ（M3 × 45）（2 本）

転倒防止用クランパー（2 個）

転倒防止用クランパー固定ねじ（M4 × 6）（2 本）

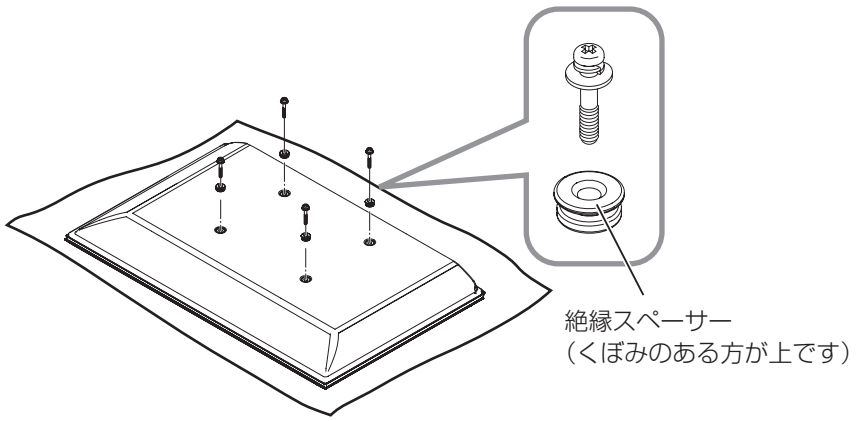
1 テレビ後面のキャップ（またはねじ）を外す（4 箇所）

● 外したキャップ（またはねじ）は保管しておいてください。



2 テレビにねじで絶縁スペーサーを取り付ける

● PDP 用と LCD 用の固定ねじ、絶縁スペーサーの組み合わせは間違いのないようにしてください。
● ねじ 4 本をきっちり締め付けます。（締め付けトルク：1.5 ～ 2 N・m）



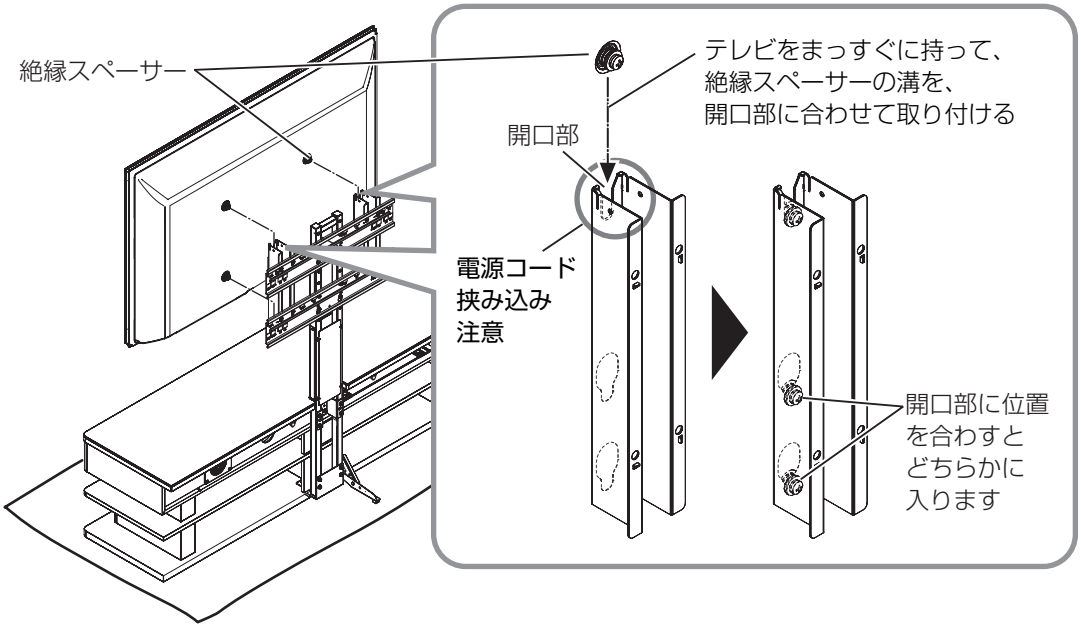
3 テレビに電源コードを挿入する

● 電源コードは束ねたままにしておき、コンセントにはまだ挿入しないでください。

組み立て設置手順（つづき）

5. テレビ取付金具にテレビを取り付ける（つづき）

4 テレビをテレビ取付金具に取り付ける

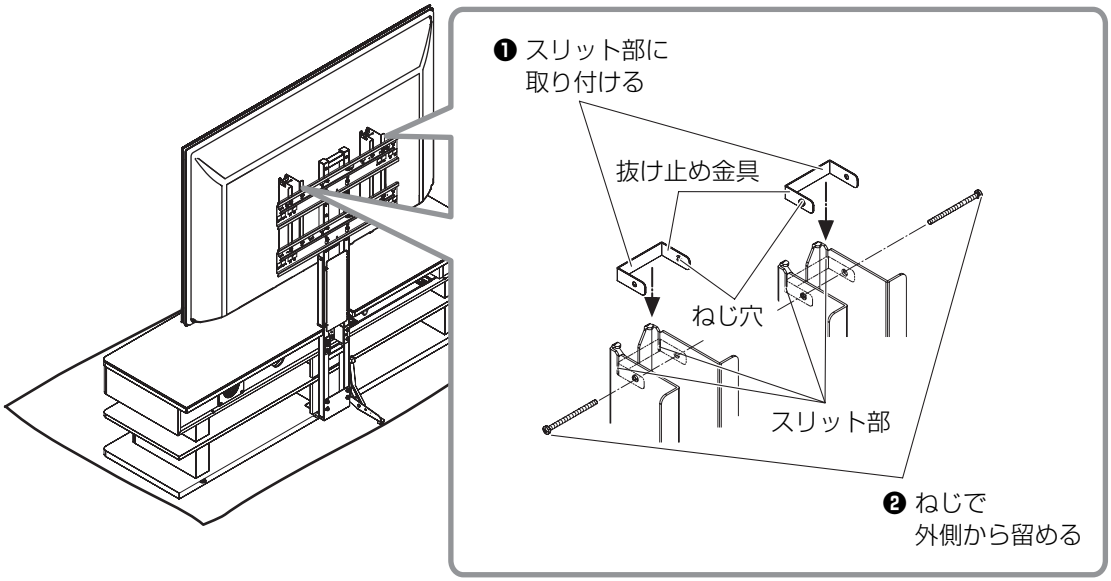


お願い

- テレビを取り付ける前に、ラックを設置場所の近くへ寄せてください。

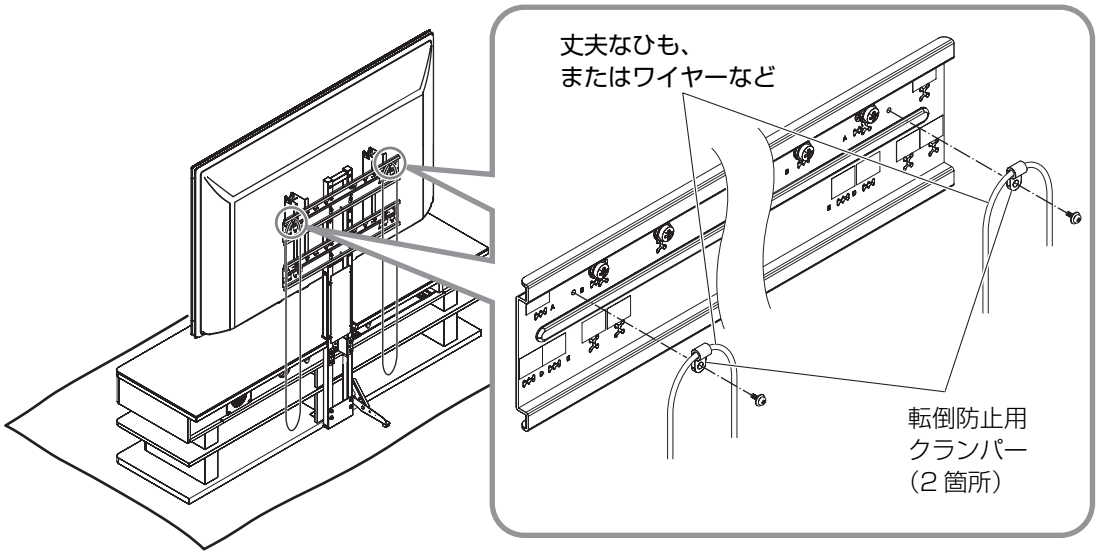
5 抜け止め金具をテレビ取付金具のスリット部に挿入し、ねじで外側から固定する（2 箇所）

- ねじを締め付けすぎないでください。抜け止め金具やテレビ取付金具が変形します。



6 転倒防止用クランパーをねじで取り付ける

- ねじ 2 本をきっちり締め付けます。（締め付けトルク：0.8 ～ 1.5 N・m）
- 市販の丈夫なひも、またはワイヤーなどでしっかりと取り付けてください。
- ひも、またはワイヤーなどの壁面への固定については、17 ページをご覧ください。



組み立て設置手順（つづき）

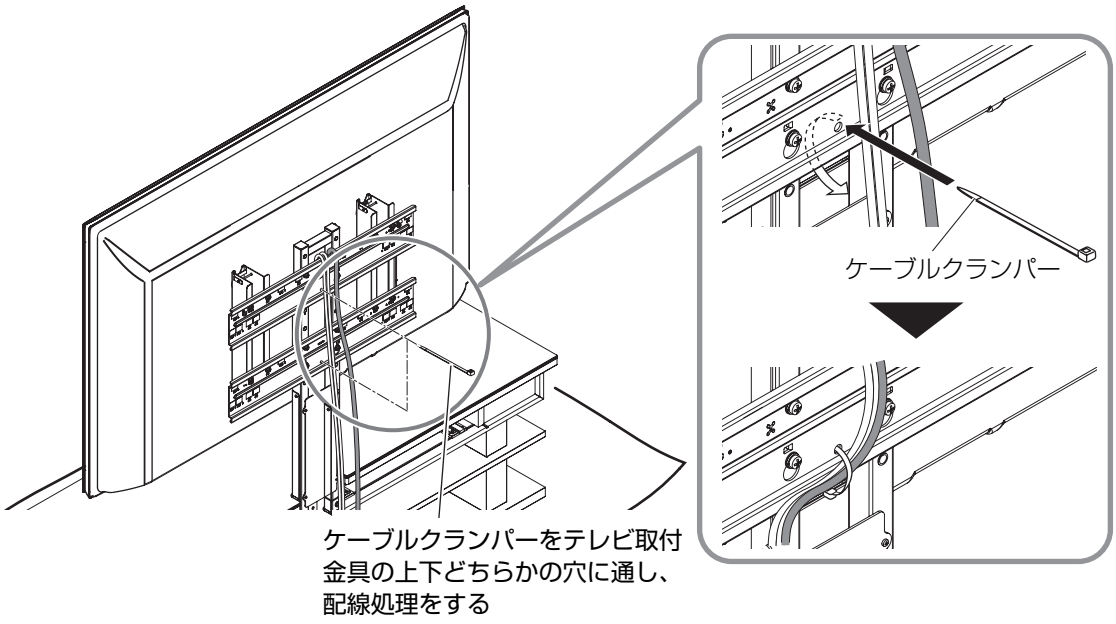
6. 設置と転倒防止処理をする

使用する構成部品

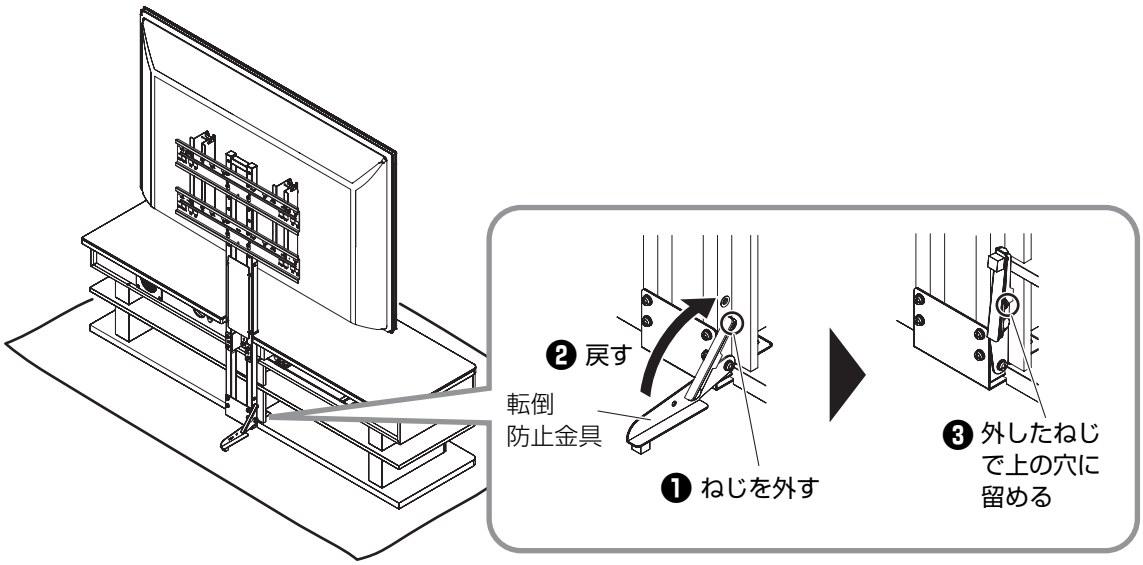
ケーブルクランパー （1 本）

1 テレビ、ラック、収納機器などの接続を行う

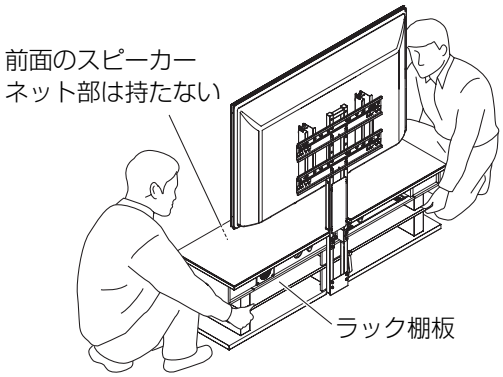
- 機器によって接続方法が異なりますので、必ず各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルクランパーは強く締めすぎないでください。

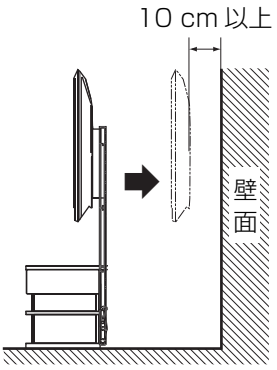


2 転倒防止金具を戻す



3 壁に寄せる



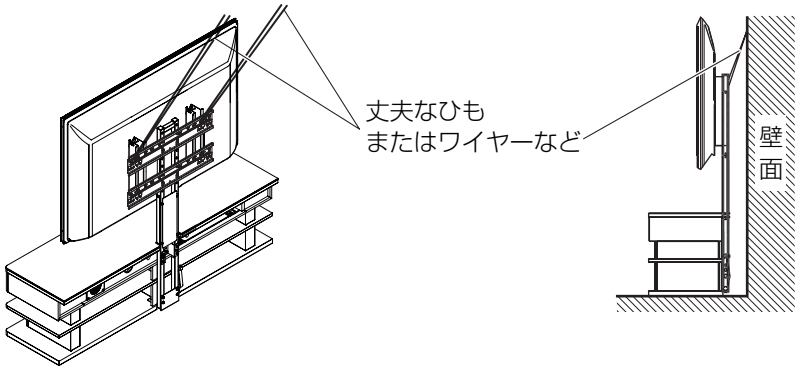


お願い

- 組み立て後は質量が重くなります。必ず 2 人以上で、強い衝撃を与えないように寄せてください。
- 組み立て後は重心が後方に偏ります。壁に寄せるとき、不安定になりますので注意してください。
- ラック棚板を持って床が傷付かないように壁に寄せてください。
- テレビの上面・左右・後面は 10 cm 以上、空間を確保して設置してください。
- 接続ケーブルの種類によっては、壁にケーブルが接触し端子を傷めることがあります。
  このような場合は、ケーブルに負担がかからないよう壁からの距離を調整してください。

4 丈夫なひも、またはワイヤー（市販品）などで壁面に固定する

- 壁や柱の材質に適した市販のねじ、丈夫なひも、またはワイヤーなどでしっかりと取り付けてください。
- 壁や柱にはテレビやラックの質量を支えられる強度が必要です。



お願い

安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。

※ 地震などでの転倒によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

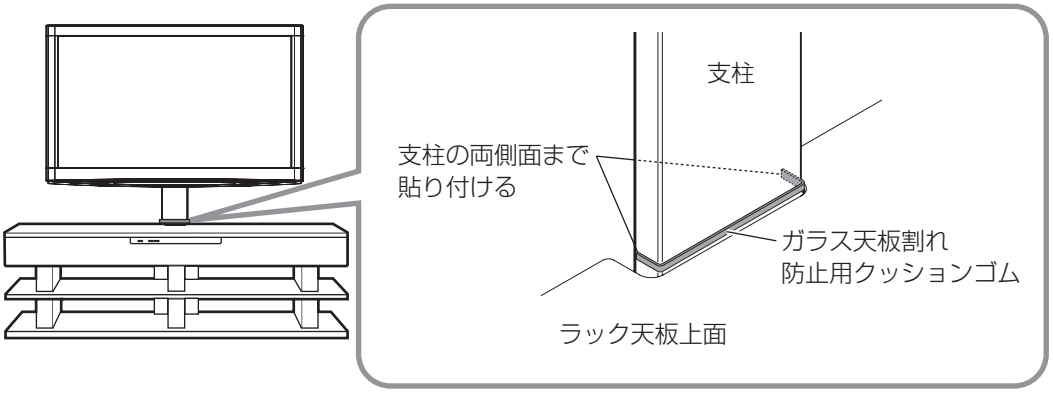
組み立て設置手順（つづき）

7. ガラス天板を取り付ける（ラックに付属の場合のみ）

使用する構成部品

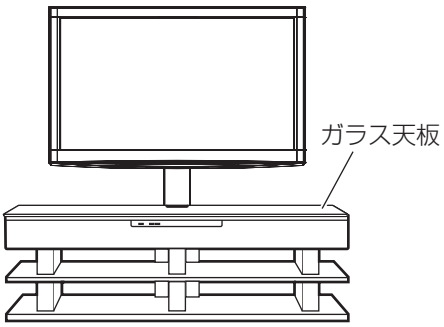
ガラス天板割れ防止用クッションゴム （1 個）

1 ガラス天板割れ防止用クッションゴムを壁寄せスタンドの支柱に貼り付ける



2 ガラス天板をラックに乗せる

- ガラス天板を支柱などに当てて割らないように注意してください。
- ガラス天板の取り付けかたについては、ラックの取扱説明書をご覧ください。



仕様

寸法 （幅×高さ×奥行）	テレビ 取付金具 取付位置	1（上段）	590 mm × 1121mm × 80 mm（転倒防止金具収納時）
		2（中段）	590 mm × 1084 mm × 80 mm（転倒防止金具収納時）
		3（下段）	
質量			約 10.0 kg

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

取り扱い上のお願い

構成部品（ブラインドシート、ガラス天板割れ防止用クッションゴム）以外の粘着性のテープやシールを貼らないでください。壁寄せスタンドの表面を汚すことがあります。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質の原因となります。

お手入れ

壁寄せスタンドのお手入れは、各機器の電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、変質や塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
携帯PHS OK
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571 － 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号
© Panasonic Corporation 2010
VQT3L74-1
H1110TY1120